

富山高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英会話Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0037		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	Talk a Lot: Book 1					
担当教員	リチャード B.カーティス,テイラー K・ダグラス					
到達目標						
①Ability to understand expressions introduced during the course of the curriculum ②Ability to respond to basic questions introduced during the course of the curriculum. ③Ability to use basic gestures as instructed during the course of the curriculum.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	Ability to hear spoken communication and to continue an ongoing conversation.		Ability to understand expressions introduced during the course of the curriculum		Failure to hear and understand expressions introduced in the text.	
評価項目2	Ability to reply to questions with complex answers and offer follow-up questions.		Ability to respond to basic questions introduced during the course of the curriculum.		Failure to respond to basic questions.	
評価項目3	Ability to make smooth, appropriate use of gestures and other non-verbal communications as part of a conversasion.		Ability to use basic gestures as instructed during the course of the curriculum.		Failure to use gestures and other communication tools explained during the class.	
学科の到達目標項目との関係						
ディプロマポリシー 3						
教育方法等						
概要	学習目標(授業の狙い) この授業は、英会話でのヒアリング技能の上達を中心に、英会話技術の向上を図ることを目的としています。授業では、英会話の教材を使って、基礎的な英語を聞き取りながら適当な反応が出来るように練習します。					
授業の進め方・方法	講義・演習					
注意点	宿題は、教材のCDを聞くものが含まれます。家で聞くことで大事なヒアリングの能力をしっかりと身につけてください。なお授業計画は、理解度に応じて変更する場合があります。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	Unit 7		Talking About Sports	
		2週	Unit 7		Discussing Physical Condition, Discussing the Sports You Do	
		3週	Unit 8		Talking About Countries, Nationalities, Languages	
		4週	Unit 8		Discussing About Ethnic Food, Country Trivia	
		5週	Unit 9		Present Perfect vs. Past Tense, The Present Perfect Game	
		6週	Unit 9		Using Superlatives with Present Perfect, Classmate Quiz	
		7週	Prepare for Oral Midterm Exam		Prepare for Oral Midterm Exam	
	2ndQ	8週	First Semester Midterm Test		Midterm Oral Evaluations	
		9週	Unit 10		Talking About Places, Prepositions of Place	
		10週	Unit 10		Giving Directions, Using Maps	
		11週	Unit 11		Travel English: Restaurant Reservations	
		12週	Unit 11		Travel English: Making Plane Reservations	
		13週	Unit 11		Travel English: Dream Trip, Listining Exercises	
		14週	Prepare for Oral Final Exam		Prepare for Oral Final Exam	
		15週	Return/Discuss Final Tests and Results		Return/Discuss Final Tests and Results	
後期	3rdQ	16週				
		1週	Unit 12		Talking About Japanese Things, Describing Japanese Places	
		2週	Unit 12		New Year Celebration, Crossword Puzzle, Numbers and Costs	
		3週	Unit 13		Talking About Future Events, Present Progressive with Future Meaning	
		4週	Unit 13		Future with Going to, Future with Will/Won't	
		5週	Unit 14		Talking About School, School Subjects, School Teachers	
		6週	Unit 14		High School Rules, Classmate Discussion	
7週	Prepare for Oral Midterm Exam		Prepare for Oral Midterm Exam			

		8週	Second Semester Midterm	Second Semester Midterm Oral Evaluations
	4thQ	9週	Unit 15	Travel English: Thailand, Vocabulary Building, Getting Advice
		10週	Unit 15	Hotel: Room Service and Wake-up Call, Changing Money, Bargaining
		11週	Unit 16	Talking About Sickness and Health, Body Parts
		12週	Unit 16	Health Problems, Giving Advice
		13週	Unit 16	Health Survey, Health Crossword Puzzle
		14週	Prepare for Oral Final Exam	Prepare for Oral Final Exam
		15週	Return/Discuss Final Tests and Results	Return/Discuss Final Tests and Results
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディールanguageなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	
				複数の情報を整理・構造化できる。	3	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	

				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	

評価割合			
	試験	態度	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0